

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	生涯学習課文化財G
------	-----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	3	教育文化	3	芸術文化	2	文化財保全	○		予算（款項目）	2－1－1（23）
事業名	町史編さん事業								事業期間	R6～R6（1年間）

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果（便益）（B）
・新たに編さんする『白老町史』は『新白老町史』の追補として位置付ける「平成史」とし、2024年度の町制施行70周年記念事業として刊行する。	・本町は1954年11月に町制を施行し、歴代町史は町制20周年記念として1975年に『白老町史』、開基40周年を記念し1992年に『新白老町史』を発刊した。	費用 便益	予算額 15,146千円	B：15,146千円
個別計画		法令等		B／C 1.0

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（11号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		・町史編さん委員会の開催 ・町史編さん業務の委託 ・町史〔平成版〕の発行 ・業務管理	・町史編さん委員会の開催 回数の増		
	予算額		15,146,000	10,000	0	15,156,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他	15,146,000	10,000		15,156,000
		一般財源				0
	科目内訳	1節 報酬	157,000	10,000		167,000
		8節 旅費	9,000			9,000
		10節 需用費	20,000			20,000
		12節 委託料	14,960,000			14,960,000
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		15,153,314	2,686	成 果(アウトカム) ・ 町民団体や職員の協力を得て、町制施行70周年記念事業として『白老町史（平成版）』を発行することができた。町史は町の歴史として永遠に読み継がれていく資料であるため、間違いが発生しないよう慎重に作業を取り進めた。	改善点(アクション) ・ 資料（紙ベース・データーとも）の収集に困難を極めたことから、次回の発行に向けては町主導で今から全職員がこれを共有し、普段から資料やデーターを蓄積していく考え方が必要。とりあえずLドライブ「■永久保存・白老町史（平成版）関連資料」に収納。
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他	15,153,314	2,686		
		一 般 財 源		0		
	科 目 内 訳	1節 報酬	166,800	200		
		8節 旅費	6,736	2,264		
		10節 需用費	19,778	222		
		12節 委託料	14,960,000	0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・ 令和2年度から町史編さん委員会（白崎浩司委員長）を20回開催し、令和7年3月に『白老町史〔平成版〕』（総頁数1,104頁）を500冊発行することができた。総事業費は38,943千円。 R6 B/C 15,153,314/15,153,314 = 1.0			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	教育課文化財係
------	---------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	3	教育文化	3	芸術文化	2	文化財保全	○		予算（款項目）	10－4－4（1）
事業名	文化財行政事務経費								事業期間	1年間

2 事務事業内容（事前評価）

目的	全体概要	区分	費用（C）	効果(便益)（B）
・文化財の保存及び活用等、文化財行政の推進を図る。	・文化財の保存及び活用等、文化財行政事務全般 ・白老町文化財等運営審議会の開催 ・文化財保存2団体への補助金交付	費用 便益		
個別計画	法令等	文化財保護法	B/C	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（号）	年度（号）	現計予算額
	年度事務事業内容（若しくは変更点）		・文化財の保存及び活用 ・文化財行政事務全般 ・文化財等運営審議会開催 ・保存団体への補助金交付			
	予算額		269,000	0	0	269,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	269,000			269,000
	科目内訳	1節 報酬	17,000			17,000
		8節 旅費	12,000			12,000
		18節 負担金	240,000			240,000
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		269,000	0	成 果(アウトカム) ・ 伝統文化継承者の指定と伝承者の活動に焦点を絞った展示会などを実施した。	改善点(アクション) ・ 伝承者の高齢化と次代を支える伝承者の成り手が不足している。
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	269,000	0		
	科 目 内 訳	1節 報酬	17,000	0		
		8節 旅費	12,000	0		
		18節 負担金	240,000	0		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・ 文化財の保存及び活用等、文化財行政の推進を図っている。			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	教育課文化財係
------	---------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	3	教育文化	3	芸術文化	2	文化財保全	○		予算（款項目）	10－4－4（2）
事業名	文化財施設管理経費								事業期間	1年間

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果(便益)（B）
・ 史跡白老仙台藩陣屋跡の維持管理等を行い、史跡の適切な維持管理と活用を図る。		・ 史跡白老仙台藩陣屋跡の維持管理等経費		費用 便益		
個別計画	『陣屋跡保存活用計画』	法令等	文化財保護法	B／C		

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	年度（ 号）	年度（ 号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		・ 陣屋跡の快適な利用に供するため、環境の整備をおこなう。			
	予 算 額		6,377,000	0	0	6,377,000
	財源内訳	国庫支出金				0
		道支出金				0
		地方債				0
		その他				0
		一般財源	6,377,000			6,377,000
	科目内訳	10節 需用費	299,000			327,000
		11節 役務費	152,000			124,000
		12節 委託料	5,926,000			5,926,000
		節				0
		節				0

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		6,352,398	24,602	成 果(アウトカム) ・ 草刈り清掃業務などの史跡の環境整備を委託したことにより、整備が行き届き来場者からも喜ばれている。	改善点(アクション) ・ 陣屋跡の老朽化が著しい。
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	6,352,398	24,602		
	科 目 内 訳	10節 需用費	305,905	21,095		
		11節 役務費	122,993	1,007		
		12節 委託料	5,923,500	2,500		
		節		0		
		節		0		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・ 本誌知的価値を生かしたさらなる史跡の活用のためにも、整備計画の早期樹立と整備計画に基づいた環境整備の実施が望まれる。			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	教育課文化財係
------	---------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	3	教育文化	3	芸術文化	2	文化財保全	○		予 算（款項目）	10－4－5（1）
事 業 名	資料館運営経費								事 業 期 間	1年間

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果(便益)（B）
・ 資料館の維持管理運営 ・ 所蔵資料の管理 ・ 展示会等の開催、資料館活動の実施 ・ 資料館報の編集発行		・ 資料館の維持管理運営 ・ 所蔵資料の管理 ・ 展示会の開催など資料館活動の実施 ・ 資料館報の編集発行		費用 便益		
個別計画	社会教育中期計画	法 令 等	博物館法	B／C		

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（9号）	年度（ 号）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		・ 資料館の維持管理運営 ・ 所蔵資料の管理 ・ 展示会等の資料館活動	・ 補正		
	予 算 額		3,180,000	177,000	0	3,357,000
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金				0
		道 支 出 金				0
		地 方 債				0
		そ の 他				0
		一 般 財 源	3,180,000	177,000		3,357,000
	科 目 内 訳	7節 報償費	150,000	40,000		190,000
		8節 旅費	29,000			29,000
		10節 需用費	1,567,000	137,000		1,704,000
		11節 役務費	179,000			179,000
		12節 委託料	1,001,000			1,001,000
		13節 使用料	216,000			216,000
		18節 負担金	38,000			38,000

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		3,062,721	294,279	成 果(アウトカム) ・ 資料館友の会に高校生や小学生が入会し解説員として活躍している。	改善点(アクション) ・ 更に入館者を増やすため、友の会・おもてなしガイド等と連携し事業の展開を図る必要がある。
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金		0		
		地 方 債		0		
		そ の 他		0		
		一 般 財 源	3,062,721	294,279		
	科 目 内 訳	7節 報償費	185,001	4,999		
		8節 旅費	23,000	6,000		
		10節 需用費	1,477,543	226,457		
		11節 役務費	177,771	1,229		
		12節 委託料	987,526	13,474		
		13節 使用料	176,880	39,120		
		18節 負担金	35,000	3,000		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） ・ 文化財グループ、資料館友の会等と様々な資料館活動を展開している。			

事務事業サイクル調書（成果説明書）

担当部署	生涯学習課文化財G
------	-----------

1 事務事業（予算）項目

事業コード	3	教育文化	3	芸術文化	2	文化財保全	○		予 算（款項目）	10－4－5（2）
事業名	北海道遺産仙台藩白老元陣屋魅力向上事業								事業期間	5～8(4年間)

2 事務事業内容（事前評価）

目 的		全体概要		区分	費用（C）	効果(便益)（B）
・仙台藩白老元陣屋の大きな課題となっている周知や認知度の向上を積極的に図るため、来場を促す各種事業を展開し、来館者の深い学びに供する。		①資料館開館40周年記念特別展「蝦夷地の陣屋」の開催 ②資料館開館40周年記念シンポジウム「全道陣屋跡の現状と課題」の開催 ③除湿乾燥機の新設 ④フロアマップ作成、設置		費用 便益	町財源 1,159千円	・仙台藩白老元陣屋の周知や認知度の向上を図るため、来場を促す各種事業を展開し、来館者の深い学びに供する。 B：1,759千円
個別計画		法 令 等		B／C	1.5	

3 年度計画と予算・財源（事中評価）

年度計画	年度区分		6年度(当初)	6年度（9号）	6年度（11号）	6年度（ ）	現計予算額
	年度事務事業内容 (若しくは変更点)		①資料館開館40周年記念特別展 ②資料館開館40周年記念シンポジウム ③除湿乾燥機新設	④フロアマップ作成、設置	減額補正	財源振替	
	予 算 額		1,759,000	990,000	△ 207,000	0	2,542,000
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金					0
		道 支 出 金	600,000			△ 100,000	500,000
		地 方 債					0
		そ の 他	1,159,000	990,000	△ 207,000	100,000	2,042,000
		一 般 財 源					0
	科 目 内 訳	7節 報償費	112,000		△ 60,000		52,000
		8節 旅費	664,000		△ 58,000		606,000
		10節 需用費	372,000		△ 47,000		325,000
		11節 役務費	50,000		△ 19,000		31,000
		12節 委託料	0				0
		13節 使用料	82,000		△ 22,000		60,000
		14節 工事請負費	0				0
		17節 備品購入費	479,000	990,000	△ 1,000		1,468,000

4 決算・成果（事後評価）

決 算 ・ 成 果	年度区分		6 年度決算額	現計予算残額	成果・効果	改善点・見直し
	決 算 額		2,505,667	36,333	成 果(アウトカム) 全道陣屋跡所在市町の協力により開催した記念特別展及びシンポジウムにより、念願となっていたネットワークが構築できた。	改善点(アクション) このネットワークを生かした事業展開を行い、陣屋の歴史的意義や存在感を高めるための共同調査や研究などの取組が必要がある。
	財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		0		
		道 支 出 金	500,000	0		
		地 方 債		0		
		そ の 他	2,005,667	36,333		
		一 般 財 源		0		
	科 目 内 訳	7節 報償費	51,520	480		
		8節 旅費	605,190	810		
		10節 需用費	318,177	6,823		
		11節 役務費	31,000	0		
		12節 委託料		0		
		13節 使用料	53,940	6,060		
		14節 工事請負費		0		
		17節 備品購入費	1,445,840	22,160		
	事 務 事 業 評 価		事務事業内容（アウトプット） 資料館開館40周年記念特別展「蝦夷地の陣屋」や資料館開館40周年記念シンポジウム「全道陣屋跡の現状と課題」の開催などにより、道内陣屋跡市町村とのネットワークを構築し、幕末における陣屋の歴史的評価を高めることができた。 B/C 2,505,667/2,005,667 = 1.2			